

学 園 通 信



No. 222

九里学園高等学校 P T A

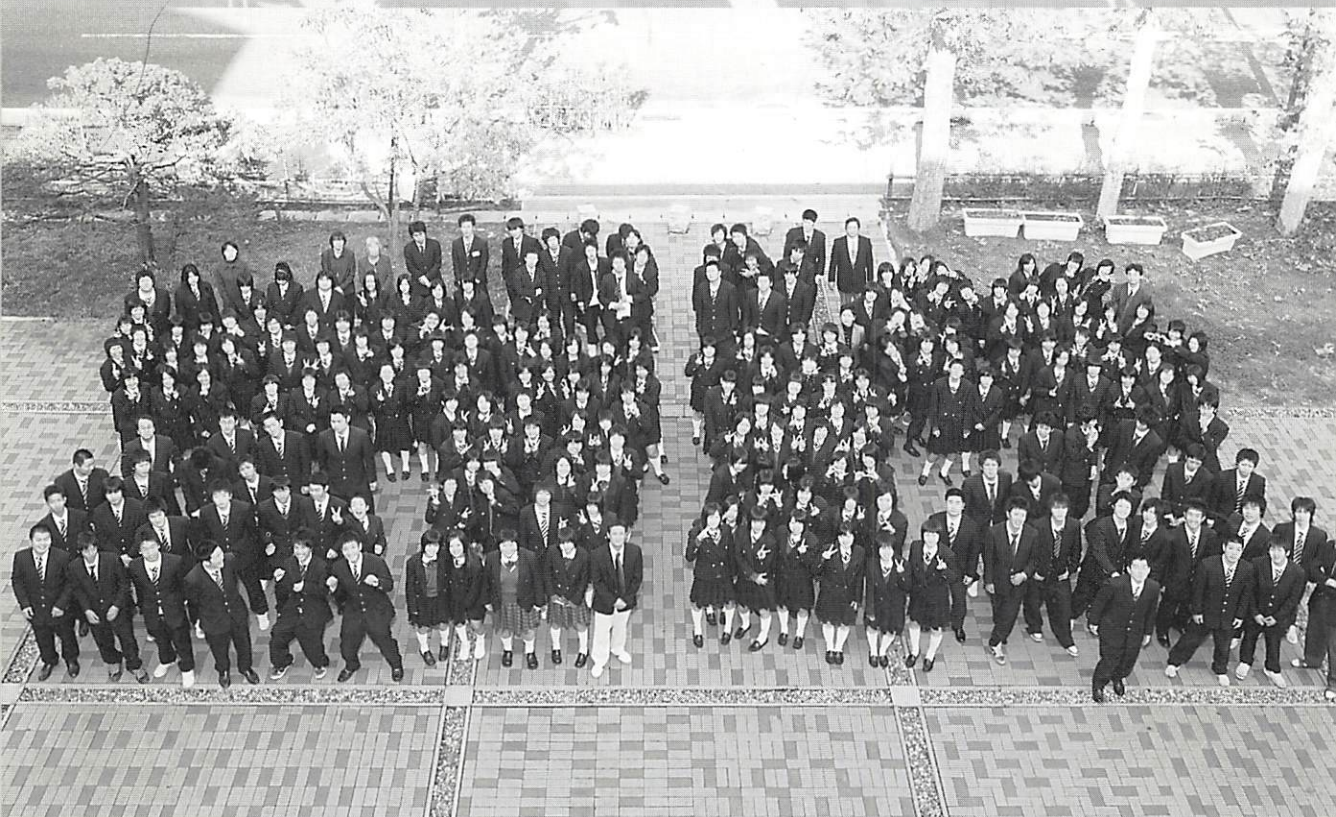
2005. 3. 1 発行

礼 讓

人間の
尊厳と信
その高貴な心
行為よう
ふいふく

自らの
持つる力を
發揮して
愛する世の人々に
捧げよう

三書



卒業特集 * * * 三年間の思いを込めて

饑の言葉

はなむけ

思えば過去四十年、日本の社会は、歴史の中で経験した事の無い繁栄と、そしてそのバブルがはじけるといふ混沌を経験しました。父母の皆様も、生徒たちもこのような国情の中で生き、価値観も定まらぬ日々を過ごされたのではないかと、而も激しい災害までも加わって、不安に拍車をかけたのではないかといえます。

中国の言葉に「天のなせる災いはなお避くべし。人のなせる禍いは避くべからず」という戒めがあります。ひどい災禍でも、備えと工夫でくい止めることもできようが、自らの不徳の故にまき起こした災いは、根が自らであるから、どうしようもないのです。

人間が、人の心を喪わなければ、自然の災害に傷ついた人々も援け合い、励まし合って、人間としての喜びを感じあえることは、阪

神・新潟の恐ろしい災害に遇った方々のいつわらない感想でした。

人は悲しいことに、辛い中でしか真実をつかみとることができないのです。豊かな物資と、便利極まる器具、あふれる情報と、飽食の中から、どんな人生の真実をつかみとれたというのでしょうか。やはり貧しい事がよかつたのか、不便な方が好ましいのか——私の問いは正にその一点にかかっていました。

古人の言葉を聞いてみます。あの有名な哲人カントは、「幼き日に自己を抑制することを学ばなかった人間は不幸である」と言っています。また中国のことはですが、「克己復礼為仁」（己れに克ち、礼に復るのが至上の徳——仁というものだ）といえます。また日本の北条泰時は、「人貧しき時は物の善悪もよく辨え、よろず道正しけれ

ど、富貴になりては心の鏡も失せ、人の指さすようになりぬ……」として、富貴が人間の心を誤らせる原因になるから心せよといましめるのです。

戦争の傷手から一日も早く回復したいという思いから、営々と働き、豊かさを求めつづけた我々の努力が、人間の怠惰や柔弱・利己主義や非礼などに結実したとすれば、それまでの努力は、結果として何という愚行であつた事かと悔やまれてなりません。豊かさや便利さが悪いのか、いやその豊かさを人間の道につなぐ方途を誤つたと申すべきなのです。

さて、その人間の道こそ、私は「礼」と「讓」だと言います。豊かさを、人間同志の尊厳を保証する道につなげるべきなのです。また、豊かさを實現して、愛する世の人々に捧げるべきなのです。この

学園長 丸田 茂三

地球上にそれこそ心と物のわびしさに、救いを求めつづけている幾十億の人々が居るのです。自らには厳しく、他者にはやさしく、それが優れた人間のえらぶべき道だったのです。

小さくは日常の挙措動作に、大きくは人生の生き方全体に、人間である事の誇りに徹して、堂々の人生を歩んでほしい。これこそが、私の切ない、貴方がたへの饑です。

学ぶ楽しみ

校長 九里廣志

今、私はクノリ・ユースフル・スクールで「憲法講座」を行って
いる。平成四年からスタートし、
休講の年もあったものの、かれこ
れもう十年以上も続くこの講座に、
今年も市民の方々が学びに来てく
ださっている。私の拙い話を、ノ
ートをとりながら一生懸命に聞い
てくださり、自分の身近な所から
の質問や意見なども活発である。
学ぼうとする真摯な姿勢を感じて
いる。夕方六時半から始まるこの
講座は、仕事後の方などには辛い
時間であるのに、終了予定の八時
半に終わったことがほとんどない。
いつも意見交換が長引いて、つい
延長してしまうのだ。みんなが賛
否両論いろんな意見を出し、最後
まで議論にお付き合いくださるの
がとても嬉しい。

3

私がこのような講座を開いた最
初は、東京・調布市にある私立学

校に勤めていた時である。学校に
隣接する市の公民館から、市民対
象の憲法講座を開講して欲しいと
要請があったことがきっかけ。大
学時代、ゼミで憲法を受講しては
いたが、専門家などというつも
りもなかったし、素人同然ですか
らとお断りしたが、是非にと頼ま
れてお引き受けすることにした。
たった四回の講座であったが、そ
こに集まった方たちの熱心さに頭
が下がる思いであった。こんなに
一生懸命聞いてくださるの、だか
ら、こつちももつと勉強しなくて
はとの思いで、学生時代以上に勉
強した。受講者の最年長者は八十
八歳。

「私は前の憲法しか知らないか
ら新しい憲法を一度学んでみたい
と思つて」とおっしゃって、毎
回熱心に受講された。彼が、「足
入れ婚」の体験を話してくださつ

た時などは、私も逆に一受講者に
なり、興味深く聞かせていただい
た。楽しかった。

この時から、私は「教える」立
場ではなく、「一緒に学ぶ」とい
う楽しさを味わわせていただいで
いる。私の役目はあくまでも問題
提起者である。こんなことが今話
題になつているというテーマを投
げかける。それについて受講者が
考えていらつしやることを投げ返
してくださる。考えていなかった
反応が返ってくることもある。難
題で次回に持ち越すこともある。
私はまた学ぶチャンスをいただい
たことになる。

学びたいと思つておられる方々
には年配者が多い。知識を得る楽
しさを知つておられる。知識があ
るといふ傲慢さごうまんではない。知らな
いという謙虚さけんじょ、知る喜びが自ら
を学ばせるのだと知つた。それに

対して、日本の若者が学ばなくな
つたと言われて久しい。学ぶ楽し
さを私たち教師が体験させなかつ
たのだ。大反省しなければならな
い。

猫の目のように教育の方向が変
わる。国がコントロールしようと
する傲慢さが、若者の興味を翻弄ほんろう
していると気付かないのか。

卒業おめでとう

—世界の天空へ飛び立て!!—

卒業に向けて

第三学年主任 笹原 裕一



人生の次のステージに進むために解決しておかなければならない課題を「発達課題」というが、アメリカ

の心理学者ハヴィガーストは青年期の発達課題として十項目をあげた。

それは、自分らしい価値観を見出し、両親を含めた大人からの情緒的な自立を達成し、経済的な自立の目安をつけることであり、子供時代とはことなる、同年齢の男女とのさまざまな交わりのもとして、男性または女性としての社会的役割を自覚し、そして将来の結婚や家庭生活の準備をすることだが、これらの発達課題のすべてがそれぞれの若者にとって満足の行く形で達成されたとき、青年期は実質的に終わりを告げる。

高校卒業は青年期の終わりを告げるものではないが、しかし、三年前、初々しい顔立ちで本校に入学してきた生徒たちも、今あらためて一人一人を見ると、高校三年間の学園生活のもので、それぞれにふさわしい成果を成し遂げたことがうかがえて、私はとてもうれしい。

もうまもなくやってくる二十歳という年齢が、本当に実質的な大人の扉であるためにも、今高校を卒業するにあたって、更なる精進を君達に期待したい。

卒業おめでとう!

第三学年副主任 大木 善子先生



九里で過ごした三年間で、多くのことを学び、身につけ、そして多くの困難や試練にも遭遇したことでしょう。これから皆さんが生きていこうとする社会は、複雑で厳しく戸惑いや不安を感じる場面が多々あると思いますが、自分の考えや価値観をしっかりと持って、周りの人と調和し、協力しながら生きていってほしいと思います。又、困った時一番頼りになるのは、青春時代に時間を共有し、共に悩み、共に喜んだ友人です。その友人をいつまでも大切に、どんな時も笑顔を忘れないで頑張ってください。

ご多幸を祈る

齋藤 佳子先生



勸酒 于武陵
勸君金屈卮 滿酌不須辭
花發多風雨 人生是別離
この五言絶句を井伏鱒二は次のように訳した。

コノサカツキヲ受ケテクレ
ドウゾナミナミツガシテオクレ
ハナニアラシノタトヘモアルゾ
「サヨナラ」ダケガ人生ダ

(昭和十年一月執筆)

ご卒業おめでとう。未成年のあなたたちには、「ジュースを飲む」となるうか。また会う日までお元気で!

卒業おめでとう!!

本田 米子先生



この三年間を、ただ漠然と目標も持たずに過ごした人はいないと思います。良し悪しは別として、多くの体験、そして努力と頑張りにより人間的にも成長できたはずですよ。たった三年間、されど三年間の貴重な体験を活かすのはこれからです。皆さんの将来には、今の社会状況を考えると不安も多くありますが、真面目に一所懸命生きていけば道は開けると信じています。その為には、どのような事に遭遇しても決して逃げず、悲観的にならず勇気をもって歩いていってください。今日まで支えて下さった人達に感謝しながら新しい自分にチャレンジしていきなさい。人生は一生勉強なのだと言う事も忘れずに。

礼の精神を大切に

豊嶋 達也先生



ご卒業おめでとう、ございます。三年間楽しい事も辛い事も沢山あったと思いますが、晴れてご卒業の時を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。みなさんに一番お伝えしたいことは、礼の精神を大切に歩いて行って下さいということですよ。今の社会はご存知のように自己中心になりがちなのがあります。でも考えてみれば、人は自分だけで生きているのではなく、他の人々のお陰で生きているのです。そう考えると、人としての根本はやはり、礼だと思えます。本校の校是にありましたように、礼の精神を大切にされつつ、立派な社会人になられますよう祈念申し上げます。

1組

情熱をもって
荒野を進め

担任 上村 英俊



卒業おめでとうございませう。社会に踏み出すあなたの一歩

は、人類にとっては小さな一歩かもしれませんが、人生にとっては大きな一歩です。六十年代に失われたスピリッツを二十一世紀の今、あなたたちの手で復活させてください。若者の値打ちは常に未来にあります。情熱を灯火にして、嵐の中をすすんでいきましょう。



人とのつながり

山口 法明



自分にとってこの学校で学んだ三年間、それはとても意義のあるものでした。人と人との交わりの中で、一日一日がとても新鮮でした。ありのままの自分をさらけ出し合えるコミュニケーションの場として、とても良い環境だったと思います。人と人とのつながりが社会に出た時に最強の武器となることと自分は信じています。そして、また必ず再会できる事を願うところです。

一人一人が目標に向かって

佐藤源太郎



卒業を間近に控えて、一人一人がそれぞれの目標に向かい頑張っています。行事の時などは、いつも以上の団結力を発揮し、全員で一つになれたと思います。またいつも一つの話題でみんなが盛り上がり、楽しく笑いあう明るいクラスになれたと思います。そんなクラスも、卒業と同時にバラバラになってしまっていますが、この仲間達との思い出を大切に、それぞれの進路を歩んで行きたい。

卒業にあたって

担任 高橋左和明



三年生諸君、卒業おめでとう。九里学園で過ごした三年間、皆さんはどんな思い出を作りましたか。そしてどんな希望や目標を持って巣立って行くのでしょうか。先生はとても楽しみです。私からの送る言葉は、「人生即感動」です。感動のない人生はつまらないものです。自分が感動することみんなが感動することを積極的にやってみましょう。感動あるところに、笑顔と充実感が咲き誇ります。頑張れ若者たちよ！

先生へ

菊地 勝

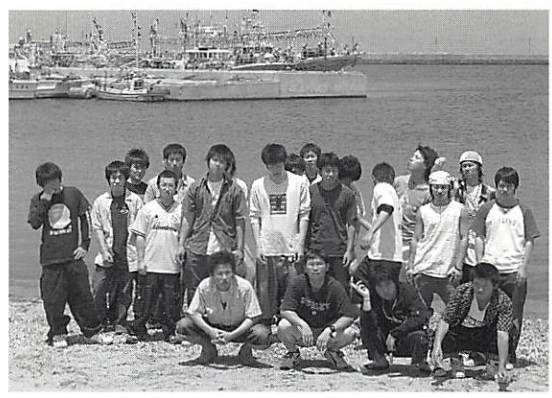


私は、今の担任の高橋左和明先生には、二年間お世話になりました。二年間は長いようで短かったです。先生には、いろいろ迷惑をかけてばかりでしたが、もう、卒業です。先生に、教わったことは忘れません。そして、今までありがとうございます。先生のクラスは、最高でした。

2組

卒業にあたって

石澤 伸晃



入学当初から三年間この九里学園という素晴らしい学校で生活できて幸せだと思っています。この三年間いろいろとありましたが、高校生活でか得られない事がたくさんあります。三年間の友達、思い出がこれから社会人になる上で人生の基礎となる事がたくさんあるので、社会に出て挫けないよう努力をして立派な『大人』になりたいと思っています。頑張るしかない!!

先生に、教わったことは忘れません。そして、今までありがとうございます。先生のクラスは、最高でした。

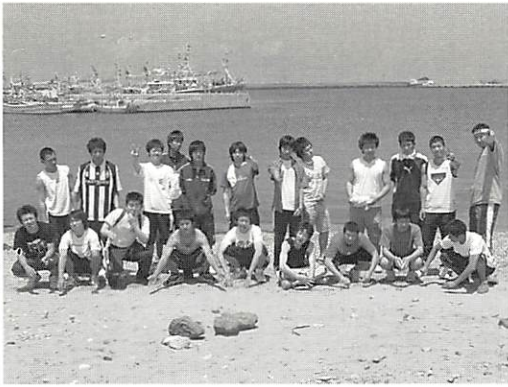
3組

やらなければ
ならないこと

担任 奥山 光彦



社会人となり仕事をする
ということは大変なことだ
と思います。私の経験では
高校時代の部活動が今までの人生の中で一番き
つく、大変なものだと思いますが、高校の部活
は好きでやっているもので、趣味にすぎません。
しかしながら、卒業してからは食べていくため
には働かなければならない、絶対的にやらなけ
ればならないことになります。これを自覚し頑
張ってください。毎日絶好調と思っべし。



三年間の思い出

桑原 賢太



私は九里学園に入学
してからすぐにオース
トラリアに行ったあの
日からもう、こんなに日にちが経っている
のだとしみじみ感じています。三年間続け
た部活動では、ねばる事、諦めないことを
学び、体も精神も鍛える事が出来ました。
三年間お世話になった奥山先生は、優しく、
時には厳しくといった先生のおかげで、高
校生活が充実しました。社会人になったら、
今までの教えを胸に、頑張りたいです。

卒業にあたって

高橋 恵太



私は卒業後、米沢の消
防署で働く事が決まりま
した。

消防士という仕事は、人の命に関わる仕事
です。この仕事をするにあたって気は抜けま
せん。今の自分には、足りない所がたくさん
あります。それで卒業にあたって、自分を見
つめ直し、己を高めていきたいです。そして
たくさんの方の為に働き、たくさんの方を守
れる消防士(男)になっていきたいです。

宝物

石原 温子



卒業にあたって、こ
れまでの三年間を振り
返ってみると、一番最
初に浮かんできたのは部活のことでした。
吹奏楽部に所属していた私は、音楽の楽
しさだけでなく、友達の大切さなど、た
くさんのことを学ぶことができました。
辛いことがある度に、友達と励まし合い、
支え合って一つ一つ乗り越えてきました。
この三年間で得たものはとても多く、大
切な思い出です。ありがとうございます。



「心」をもって

担任 廣田 芳雄



「親からもらった五つの
心。」「はい」という素直
な心、「おかげさまで」と

いう謙虚な心、「ありがとう」という感謝の心、
「私がいま」という反省の心。これから生きていく中でと
ても大切な言葉です。このような言葉が自然
とでるような女性、

また、人間に成長し
てください。三年四
組の娘達、本当に卒
業おめでとう！

感謝

佐藤 貴英



私が高校生活を振り
返って一番大きかった
ことは、部活動です。

三年間バドミントン部に所属し、部活の
時間はもちろん、自主練や夜練など時間
があるだけバドミントンに費やしてきま
した。普段の生活以上に部活を通して得
たものは大きく、部長となった私を支え
てくれた部活の仲間、私達を最後まで見
離さず指導してくれたコーチ、また様々
な先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

4組

5組

身につけたことは

担任 山木美智子



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学してきたころの皆さんを

思い出すと、大人に成長したなあとしみじみ感じます。皆さんと共に三年間過ごした自分はどうだろうかと考えてみると、少しは色々な意味で「強さ」を身につけることができたと思います。皆さんは九里学園の三年間で何を身につけましたか？その宝物を大切に、仲間との思い出を胸に、明るい未来に一步踏み出して下さい。

私の高校生活

山川 舞



私の高校生活は、部活一色で過ぎていきました。私は、たくさんの人を支えられて三年間陸上を続けてこれたのはいうまでもありません。私を変えてくれたのは陸上競技です。だから私にとって陸上は、なくてはならないものになりました。陸上で教わったことは、これからの人生に大いに役立つと思います。私を三年間支えてくれた人達に感謝したいです。



私の学んだ大切なこと

酒井 祥子



私は三年間、美化委員を務め、三年生では美化委員長になりました。

全校生の美化意識向上のため、特にゴミの分別に力を注ぎました。少しずつではありますが効果がもてきました。私の意志が伝わらず苦しい時もありましたが「諦めない」ことの大切さを学びました。このことに気付かせてくれた仲間や先生に感謝しています。これから何事にも精一杯向き合い、諦めず生きてゆきたいと思います。

オレンジ色の思い出に乾杯

担任 吉田貴美子



七月のクラスマッチで揃えたオレンジのTシャツ。派手だけど着るとな

かなか良い評判。私はこのTシャツが大好き。元気・明るい勢いがある。着るだけでパワーが湧く。バスケットボール優勝。体育祭の応援もオレンジパワーで燃焼した。体当たりの日々や注意ばかりの一年間だったが、一人一人の成長を感じては沢山の思い出に胸を熱くしている。人生は山あり谷あり、辛い時はTシャツを着て前に進もうよ。

卒業にあたって

長谷部裕香理



この三年間長いようで短い高校生活でした。毎日のように部活をしていたから

学校生活が短いように感じるのかもしれませんが、でも私が部活をしていなかったら高校で多くのことを学んでいなかったと思います。部活を通して先生方から指導を受け、多くのことを学ぶことができました。

卒業にあたって

島貫 誠子



私の高校生活は陸上競技一色でした。私はこの生活に悔いはあり

ません。陸上競技の中でさまざまな体験をし、学んだことも沢山ありました。友人には沢山支えてもらいました。九里の生徒として生活した三年間。高校時代は長い人生の中で一瞬の出来事かもしれませんが、ですが私には忘れられない思い出です。この思い出を胸に、新たなスターラインに歩み出そうと思います。

6組

この高校生活を通して学んだことを、これからの社会生活に生かしながらんばりたいと思います。



7組

良き幸せな人生を…

担任 富樫 宏之



「欲するばかりでは幸運は訪れない。幸運を呼びこむひとつの力ギは、

人に手をさしのべられる広い心。クラスの読書討論会で読んだグッドラックの一文です。まさに君達がこの九里学園で目指してきた「礼・讓」の精神とも結びつくことではないでしょうか。人は一人だけでは生きていけません。支えてあげたり、支えていただいていることも感じ感謝したいです。良き幸せな人生を…。」



充実した三年間

登坂 愛



私にとって高校生活三年間の一番思い出に残っていること

は、バドミントン部で活動していたことです。毎日の部活動はもちろん、目標をもって一生懸命練習に励みました。部活が終われば部日誌にその日の反省を書きます。この繰り返しで、毎日得られたことが沢山ありました。何事にも努力し成長した日々、そして顧問の先生方やコーチ、部活の仲間への感謝の気持ちでいっぱいです。

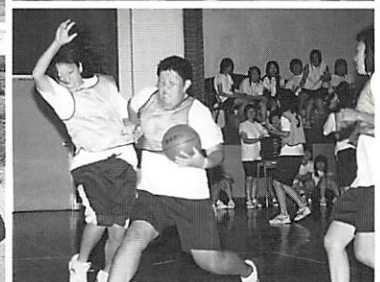
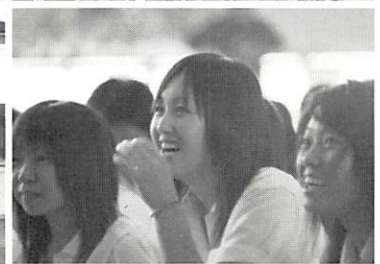
卒業しても……

東海枝宣子



入学当初は中学校とは違い、顔も名前も知らない人たちばかりで

不安もいっぱいでしたが、日常生活や行事などを通して徐々にうち解け合うことができました。そして今ではたくさんの友達ができ、思い出もいっぱいできました。卒業してしまつと、みんなバラバラの進路に進むことになってしまいますが、一人一人目標を持ってがんばってほしいと思います。



先輩へ 後輩へ 贈ることば

また笑顔で会える日まで

元生徒会長 新野 智宏



こうして卒業にあたりて文章を書く、本当に自分は卒業するんだなという実感がグツとわいてきます。そして文章を書いている今、この文章が学園通信に載る頃には自分は卒業しているのかと思うとすごく切ないような悲しいような気持ちです。卒業は高校時代のゴールではあっても、長い人生の中では通過点であり、卒業を経ての春からの生活は新しいスタートです。そして親しい仲間との別れの辛さを乗り越えた、ご褒美として、春にはたくさんの人達との出会いが待っています。三年間、共に過ごした仲間達だから希望も持つて歩んでゆきましょう。僕達は、まだまだ若いのだから可能性は無限大！色々なことに挑戦していつかまた笑顔で会える日まで元気で過ごして下さい。後輩達は、僕達の良き伝統は積極的に引き継いでほしいし、もし改善すべきだと思ふようなことは遠慮なくどんどん壊して、新しき良き伝統に塗り変えていってください。様々な場面で九里の名が世に轟くことを期待しています。僕達は九里を卒業しても、九里の卒業生の名に恥じぬように、がんばっていきますのでこれからも応援よろしくお願いします。



一年一組
原 雄司

僕は、野球部で唯一の三年生である源太郎先輩が、厳しい夏の日でも、笑顔で僕たちに接してくれているのを見て、元氣と勇氣をもらっていました。本当にありがとうございました。



一年六組
川崎 綾奈

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。先輩方には、部活動や行事などで大変お世話になりました。今度自分の夢に向かってがんばってください。



一年七組
平間 あゆみ

今年一年、三年生にはお世話になりました。一年生で何もわからない私達に、たくさんの事を教えていただきありがとうございます。これからの未来に向かって頑張ってください。



二年二組
山口 裕太

三年生のみなさんご卒業おめでとうございます。いよいよ羽ばたく時です。九里で得た力を信じて、自分の人生をしっかり進んで下さい。僕達もみなさんの後ろ姿にエールを送ります。



二年二組
吉池 伸太郎

御卒業おめでとうございます。これから先輩方はそれぞれ違う道へ進むわけですが、可能性が沢山あると思います。その可能性を信じて、大きく前進して行って下さい。



二年五組
米野 麻由美

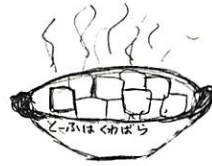
三年生のみなさんには色々な面でお世話になりました。四月からはそれぞれの進路に進まれると思いますが、高校生活で培ってきたことを活かして頑張ってください。

豆腐のように

学年委員長 桑原誠一

私の家業は、豆腐屋である。常々子供達には豆腐のように育ってもらいたいと願っている。一見豆腐は、面白味の無い姿形ではあるが、食べてみれば、冷やしてよし、温めてよし、揚げてよし、焼いてもよし、炒めてもよし、又、薬味を選ばないと言うよりは、薬味の方が組み合わせを望んでいる。お互いを理解し尊重しているからだ。今の世の中はどうだろうか？

他人よりは自分、傲慢、横柄、つっぱり、頑固、強い我、イラク戦争が良例である。早い話、九里学園のスローガンである『礼』『讓』このことに尽きる、流石である。感銘を受けた。「豆腐も煮ればしまる」と言うように悩みや苦勞を重ね、一日も早く卒業生が、「二丁前」に成ることを願っています。三年間大変お世話になりました。



卒業に寄せて

三年二組保護者 渡邊雅訓

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年前、期待と夢を持ってスタートした高校生活は、君達にとつて悔いの無い実りある三年間だったのではないのでしょうか。それぞれの夢を実現するために精一杯努力をされたことと思います。

卒業を迎え輝かしい未来へ羽ばたこうとしている今、九里学園に学んだ事を誇りに思い、自立した自分を目指して胸を張り堂々と晴れやかに巣立って行ってほしいと思います。そして三年間君達を温かく見守ってくれた人達への感謝を忘れず、健康で素直な心の広い大人になって下さい。

最後に、保護者として学園の諸先生並びに関係各位に対し、心より感謝申し上げます。



快心の時間とき

三年一組保護者 我妻一美

九里で過ごした三年間は息子の少年時代において、かけがえのない時間であったと思います。目標も定まらない中、色々な問題を起こしながらも先生方の親身な指導のおかげをもって、大きく崩れる事なく過ごす事ができ、進学という目標を持つ事で自分の能力を引き出す事に成功しました。子供の努力と先生方の心温まる指導にあつて、教育の真髄を目の当たりにした思いです。親としては快心の思い出になる事でしょう。

高校生活の思い出そして出発

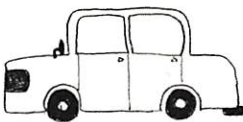
三年三組保護者 荒井元子

親子共々不安でいっぱいでしたが早いもので三年間がたち、先生方のご指導のおかげで精神的に成長をしていきました。手がかからなくなることはうれしい反面、親としてはちよつぱり寂しい気もします。高校生活のなかで自分を発見し進むべき道を見つけた人、たくさんの友達と出会つて友情を深めた人、部活でスポーツの技術を磨いてきた人、それぞれ内容は違いますが、充実した高校生活を送ることができたかと思えます。何にでもチャレンジし、また未来に向かつて夢と希望をもって力強く進んでほしいと思います。



卒業おめでとう

熱い 父母メッセージ



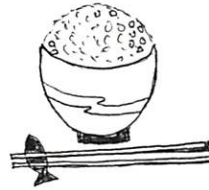
輝かしい未来へ旅立つ君達へ

娘の卒業にあたって

三年四組保護者 北郷 勉

高校に入ってから、バレーボールを続けたいと思っていたところ、顧問の奥山先生からお誘いを受け、九里学園に進む事を決め、三年間、部活動にかなりのウエートをおいた高校生活を送ってきたようです。熱心な御指導のおかげで、三年になって、県のベスト8に入る事ができて、本人もある程度満足しているのではないのでしょうか？

進学についても、担任の廣田先生はじめ、進路指導の先生方、更に顧問の奥山先生にも御忠告を頂きながら、将来の夢を見据えながらの進路を選ぶ事が出来たようです。多くの友達に恵まれ、充実した高校生活をさせて頂き、親として大変感謝致しております。三年間、ありがとうございました。



卒業にあたって

三年六組保護者 佐藤 栄 寿

雪解けの頃三年生の皆様は高校生活にピリオドを打ち、それぞれの道に進んでいきます。高校生活の中でいろんな思い出ができた事と思います。クラス行事では、親の私達も学生の頃に戻ってハッスルしました。親子ともに楽しい時を過ごさせていただき、ありがとうございました。これからは自分の判断で物事を決める事が多くなると思います。うまい話には気をつけて下さい。必ず危険な裏があります。世の中苦労も努力も無くて、成功する事は少ないのです。失敗する事もあるでしょうが、「七転八起」で頑張ってほしいものです。

クラス役員として、いろんな皆様に御協力していただきありがとうございました。



卒業にあたり

三年五組保護者 伊藤 正 俊

入学したのがついこの前のような気がして、本当にこの三年間は「あつという間」でした。この三年間、嬉しかった事や悲しかった事、怒り心頭に発した事、その一つ一つが一つも無駄にならずに血になり肉になって、自分というものと一体になっていくものと自覚してほしいと思います。

特に、苦しかった事や悲しかった事は、これからの人生に、人に対する深い思いと、豊かな自分の人生に繋がっていくことでしょう。

これからの人生において、失敗や挫折に遭遇したらこれまでの自分を見つめなおし、できれば九里学園での生活を思い出し、ここまでできた自分を認め、また今日と違う明日に向かって一歩を踏み出し（勇気を持って）自分らしく生きていってほしいと願います。最後になりますが、三年間温かく見守っていただいた諸先生に心から厚く御礼を申し上げます。



卒業そして新たなスタート

三年七組保護者 我妻 重 晴

九里学園に入学してから、あつという間に三年間が過ぎようとしています。今は素直に卒業おめでとうと心から祝福します。卒業する子供達の社会人として大きな希望を胸に飛躍しようとしている姿にたくましさを感じます。これからの社会は目まぐるしく変わりそして厳しくなるでしょう。長い人生の中で難しい問題や場面にぶつかった時、それを自分で解決して行かなければなりません。九里学園で学んだ知恵や経験を生かして頑張ってもらいたいと思います。

九里学園に入学して子供達はのびのびと、そしてたくましく成長することができました。お世話になった校長先生初め諸先生方に深く感謝申し上げます。三年間ほんとうにありがとうございました。



各支部 活動

第二支部

いも煮会に参加して

色 摩 和 子

平成十六年十月二十三日 第二支部の芋煮会が、大町の八幡神社内でありました。校長先生のお話をはじめ、出席者全員が楽しめたことは、間違いないと思います。もちろん、芋煮も手づくりですが、定免先生の味付けと、支部長の手づくり料理は、評判が良かったです。歩くとゆれる所もあり、地震だとは感じていましたが、楽しさのあまり、帰宅後、新潟中越地震のことを、知る事となりました。



第三支部

支部活動を行って「模擬結婚式」

佐 藤 広 吉

昨年とは違った親子行事という事で発案されたのが、模擬結婚式でした。これから出席するだろう結婚披露宴を体験させてみようという趣旨からでした。招待状の返事の書き方を初め、フルコースの食事をしながら司会の方から色んなマナーを学びました。我々大人でも知らなかった事が沢山あり子

供達共々一つ得をした気分です。新郎新婦役の廣田・長谷川両先生には、心よりお礼申し上げます。三年生を送る会・役員反省会で今年度を締めくくります。



南原支部

支部活動で野球場の草刈り

安 部 國 男

当支部の地区内で野球部が毎日練習を行っています。当支部は、今年も七月十一日に年間行事の一

つである、野球場の草刈り作業を行いました。当日は、校長先生初め、野球部の各保護者と当支部の保護者約四十名で、朝六時より行いました。当日は、雨模様で、雨具着用で行いました。毎年の行事として野球部の生徒達の為に、少しでもよい環境で練習できるように、今後もこの活動を続けていきたいと思えます。

南陽支部

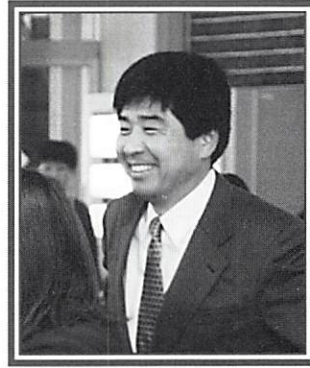
親子ボランティア活動を行って

横 山 昭 彦

南陽支部では、毎年、親子ボランティア活動を行っています。今年、八月八日の暑い日でしたが、烏帽子山公園と、双松公園の清掃を実施しました。生徒達は、部活動もあつてか、少人数での活動となりましたが、日頃、子供達と一緒に過ごす機会の少ない保護者の方々、そして、地域社会への奉仕、貢献を理解してくれた生徒達、大変お疲れ様でした。終了後、全員でバーベキュー大会を行い、有意義な一日を過ごせたと思えます。

吉田淳先生御逝去

戒名 教理淳証信士
享年五十一歳



謹んでご冥福をお祈り致します。

第二学年主任であった 吉田淳先生が、二月九日、夜十時四分、病氣治療のかいなく御逝去なさいました。満五十歳の若さでした。十二月半ば、また病名も不明で、「違和感はあるけど何ともありません。腹にできた腫瘍を取り除いてきます。良性のもの

のようです。」との言葉、入院前日には家の雪囲いをするなど、元気に入院なさいましたので、まさか、その腫瘍が命とりになるとは想像できない入院でした。先生は、昭和五十二年、宮城教育大学をご卒業後、本校の数学教師として着任されました。その後担任はもちろん、ブロッケン主任や生徒課長、そして学年主任等を歴任され、熱心に生徒たちのご指導にあたられました。教科指導では、「嫌いだつた数学が、先生のおかげで好きになった。」という生徒が多数生まれように、的確に、しかも丁寧で楽しい授業を展開なさいました。また、あたたかく生徒を包むようなご指導でしたし、生活指導の面でも、生きかたをこんこんと説いて、何が大切かがわかるまでご指導くださいました。いつも「うちの生徒は可愛いから…」と言っておられる先生でした。部活動では剣道部の顧問として熱心に指導なされ、当地区のみならず県内の剣道界の方々と親交も深く、重要な立場でご活躍なさいました。葬儀には、遠くから卒業生も駆けつけ、先生の余りにも早い御逝去に驚きを隠しきれず、祭壇に額ずいておられました。ここに、葬儀での学園長の弔詞を紹介し、御冥福をお祈りします。

九里学園学園長、九里茂三が、故吉田淳君の霊前に額ずき、万感の思いを込めてお別れの言葉を申し上げます。あらゆる意味で、今や学園の中核的存在として、教職員の信頼を受け、生徒たちからも慕われ続けてきた貴方が、あのたくましい御様子にも似ず、病がちになられたことを聞いたのは、秋も深まった十一月頃だったでしょうか。持ち前の責任感から、内心の不安も隠して色にも出さず頑張り通して来られたのですが、まさか死に追いやられる程の病だったとは、君は勿論、誰一人想像することが出来ませんでした。私が見舞った時も、薬のため食事が入らず苦しいのだと聞きましたが、皆様の手厚い看護で、お会いした感じでは意外に元気で、ようやく見つけた薬の効果に期待し、「きつと良くなる。大丈夫だ。」と私は言い、君も「良くなってみせる」と固く手を握り合つて別れたのでした。あれから二十日、急に病状改まり、ついに帰らぬ人となられたと聞き、私は茫然自失、何という天の不仁かと憤りました。あれ程純粹で、あれ程愛し愛されて、自分でも「この子らを残して死ねない」と固く思いつめていた人を、こんなにあっけなく天は見離してしまつたのかと、悔しくて悔しくて神も仏ももうらめしく、言うべき言葉を知りませんでした。勿論最愛の奥様、そして子供たち、ましてやここまでお育て下さいました御両親、何事にもつけてお世話下さつた斎藤様たち。そのお嘆きはいかにばかりかと、お察しするだに胸詰まる思いで御座います。

やはり雪の降る日でした。まだ初々しい御二人の仲人として、家内共々臨席した結婚の日、あれから、それこそ美しい季節が過ぎて、次々と生まれた御子様たちも、こんなに立派に生育され、他人様からも羨まれる日々には恵まれたというのに、何と恐ろしい定め病だつた事でしょう。でも思えば、君はそれぞれ御両親様や奥様、そして素敵に育つた御子様達の深い愛に囲まれ、また教え子らの信頼を一身に受けた果報者でした。残された者は辛いけれど、君は人一倍豊かな愛につつまれて旅立つたのだと、私としてもそんな事を慰めとして、茲に一つのお別れを致します。淳君、死してなお盡あらば、君が愛したこの子らの為、あの時の思いのままに、冥利を垂れてください。思いはつきませんが、これにてお別れ致します。くれぐれも御平安を祈ります。

さようなら。

平成十六年度 三年褒賞受賞者

() 内の数字はクラス名

◎学習活動優秀賞

- 遠藤 俊哉 (2) 中條 直輝 (3)
- 石原 温子 (4) 齋藤真梨子 (4)
- 佐藤 貴英 (4) 高橋 彩子 (4)
- 田中 奈月 (4) 渡部 恵 (4)
- 梅村 祥子 (5) 遠藤 夢子 (5)
- 河内 照美 (5) 佐藤沙友希 (5)
- 佐藤 唯 (5) 村上 由 (5)
- 小林 茜 (5) 齋藤 由衣 (6)
- 島貫 誠子 (6) 穴澤 幸 (7)
- 石井 美恵 (7) 伊丹るりか (7)
- 高橋 可奈 (7) 高橋 恵美 (7)
- 堀内 美佳 (7) 我妻 瞳 (7)

◆吹奏楽部

- 窪 泰寛 (1) 黒田 健太 (1)
- 石原 温子 (4) 高橋 梨奈 (4)
- 鈴木 智子 (5) 矢木 晴花 (5)
- 後藤さやか (6) 花等 瞳 (7)
- 高橋 真美 (7)

◎特別教育活動優秀団体賞

- ・陸上競技部
- ・吹奏楽部

◎特別教育活動賞

〈優秀賞〉

◆生徒会

- 新野 智広 (1) 渡部 恵 (4)
- 高橋 朋子 (4) 嘉藤 亮子 (4)
- 酒井 祥子 (5)

◆図書委員会

- 原 祥江 (6) 平山 拓朗 (3)

◆保健厚生委員会

- 東海林夏美 (5)
- 伊丹るりか (7)

◆陸上競技部

- 長岡 和宜 (1) 遠藤 俊哉 (2)
- 横山 明 (3) 河内 照美 (5)
- 高橋 恵 (5) 太田 明子 (6)
- 島貫 誠子 (6) 高橋 恵美 (7)
- 滝口 裕子 (7)

◆卓球部

- 佐藤 唯 (5) 遠藤 夢子 (5)
- 伊丹るりか (7) 房間 亜衣 (4)
- 巴厘ボール部 嘉藤 亮子 (4) 北郷つかさ (4)
- 横山 恵梨 (5) 中村 茜 (7)
- 我妻 瞳 (7)

◆ハンドボール部

- 田中 奈月 (4) 梅村 祥子 (5)
- 新藤 友子 (6) 南齋 広美 (6)

◆男子テニス部

- 富田 恭仁 (1) 加藤 広亮 (1)
- 竹田 勇樹 (1) 芳村 聡志 (2)

◆女子テニス部

- 情野 歩美 (4) 三瓶真奈美 (4)
- 渡部 静香 (5) 洞内えりか (5)
- 松村 佳奈 (5)

◆体操部

- 安部友希子 (4)

◆書道部

- 村上 由 (5)

〈努力賞〉

◆女子バスケットボール部

- 片平 有紀 (5) 三瓶麻奈美 (6)

◎特別教育活動功績賞

◆水泳部

- 井沢 亮 (3)

◎特別教育活動功労賞

◆陸上競技部

- 舟山 一輝 (1) 渡部 誠 (2)
- 高橋 恵太 (3) 山川 舞 (5)

◆ソフトボール部

遠藤真名美 (4) 加藤 明子 (4)
高橋 彩子 (4) 渡部 絵美 (5)
樋口 晴夏 (7)

◆男子卓球部

佐藤 和也 (1) 桑原 賢太 (3)

◆バドミントン部

齋藤 貴久 (1) 菊地 勝 (2)
渡邊 純平 (2) 嶋貫 拓也 (3)
佐藤 貴英 (4) 鈴木 麻衣 (4)
青木 泉 (6) 栗原のぞみ (6)
菅 真澄 (7) 登坂 愛 (7)

◆野球部

佐藤源太郎 (1) 戸田 陽子 (6)

◆サッカー部

新野 智広 (1) 甘粕 勇介 (3)

◆剣道部

郷野 敦 (1) 我妻 協祐 (1)
大河原葉月 (5) 金子 恵美 (5)
本田 美佳 (5) 山口 恭代 (6)

◆弓道部

齋藤 理紗 (4) 茂野 双葉 (5)

◆体操部

遠藤ひとみ (7)

◆演劇部

長谷川翔太郎 (3) 平山 拓朗 (3)
菊地 渚 (4) 情野 綾 (4)
佐藤沙友希 (5) 齋藤さおり (6)

◆吹奏楽部

松屋 琴女 (6)

◆音楽部

行方 瞳 (4) 上村 尚子 (5)
酒井 祥子 (5) 本田佳菜子 (5)
高橋 可奈 (7)

◆美術部

齋藤真梨子 (4) 鈴木 翔子 (6)

◆茶道部

鈴木 亮 (1) 遠藤 睦 (6)

◆JRC部

松田 祐子 (6) 原 祥江 (6)

◆ストリングアンサンブル部

小口 和美 (5)

◆文芸部

佐藤 まき (4) 鈴木 梨未 (4)

◆英語部

渡部 恵 (4) 赤木 幸子 (4)

◆イラストアニメ愛好会

佐藤 友紀 (4) 出口 良子 (5)
大塚友加里 (6) 斎藤 由衣 (6)
小関 美穂 (6)

◎三年間皆勤賞

佐藤源太郎 (1) 富田 恭仁 (1)
菊地 勝 (2) 高橋 恵太 (3)
長谷川翔太郎 (3) 赤木 幸子 (4)
嘉藤 亮子 (4) 佐藤 貴英 (4)
情野 綾 (4) 高橋 梨奈 (4)

◎一年間皆勤賞

小口 和美 (5) 村上 由 (5)
情野 由貴 (7) 高橋真奈美 (7)
高橋 恵美 (7) 中村 茜 (7)
登坂 愛 (7) 我妻 瞳 (7)

◎読書感想文優秀賞

〈優秀賞〉

黒田 健太 (1) 渡部 恵 (4)
小林 茜 (5) 村上 由 (5)
我妻ひろか (5)

齋藤 貴久 (1) 齋藤 貴久 (1)
竹田 勇樹 (1) 渡部 光起 (1)
佐藤 友紀 (4) 鈴木 麻衣 (4)
田中 奈月 (4) 河内 照美 (5)
鈴木 智子 (5) 高橋 恵 (5)
縮 佳那子 (5) 洞内えりか (5)
本田 美佳 (5) 渡部 絵美 (5)
江川 綾 (6) 栗原のぞみ (6)
齋藤さおり (6) 三瓶麻奈美 (6)
鈴木 恵里 (6) 南齋 広美 (6)
原 祥江 (6) 原田 真弓 (6)
伊丹るりか (7) 井上 直美 (7)
今井美智子 (7) 遠藤ひとみ (7)
大淵 唯 (7) 小方智恵美 (7)
高橋 真美 (7) 東海枝宣子 (7)
戸田さやか (7)

平成十六年度の 進路状況について

進路指導課長 大木 善子

今年度の就職戦線は、求人数だけで見れば昨年の一・五倍と雇用状況が好転しているようにもみえましたが、例年どおり厳しい状況でした。その理由として、増加した職種は男子型の生産工程職のみで他の職種は減少し、生徒の希望職種とあまり一致しないという現実でした。幸い本校の就職希望者は、全員内定することができました。これも保護者や県内外の企業の方々のご支援によるものと感謝致しております。

また、進学の方では男子生徒の大志向により、全体としても四大希望者が増えました。昨年度は食物系に人気が集まったのですが、今年度は幼児教育や経済学部を志望する生徒が多かったのが特徴です。地域的には、従来どおり地元希望が多いのですが、四大希望者は首都圏を初め関西までその範囲を広げた生徒もいます。

専修学校に関しては、国家資格を

－ 16年度卒業生進路状況－

◆H16年度卒業生の希望進路◆

平成17年2月25日現在

	就職希望者			進学希望者			家事 その他	合計	
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種			
男子	18	7	25	20	0	19	39	8	72
女子	35	28	63	10	30	48	88	12	163
合計	53	35	88	30	30	67	127	20	235

◆H16年度就職内定状況◆

	県内希望		県外希望		合計	
	県内希望	県内内定	県外希望	県外内定	希望者計	内定者計
男子	18	18	7	7	25	25
女子	35	35	28	28	63	63
合計	53	53	35	35	88	88
内定率%	100%		100%		100%	

◆進学関係合格状況（延）◆

	大 学	短 大	専 修 各 種	合 計
希望者	30	30	67	127
男子	19	0	16	35
女子	10	30	45	85
合計	29	30	61	120
合格率%	96.7%	100%	91%	94.5%

取得して就職につなげようという動きが年々強くなってきました。今年人気だったのは、男子は自動車整備学科、女子は教育・福祉系の中で介護福祉学科、そして調理科、理容科、美容科でした。大短と同じく経済的な負担を考えて、地元か近県へ

の希望者が多いようです。就職・進学いずれの場合も明確な進路目的と希望に対する強い意志が求められます。早い時期から、自分の将来を見据えてしっかりキャリアプランニングし、準備を始めることが大切です。

編集後記

三年生の皆さんへ卒業おめでとうございます。第二二号を三年生の保護者で担当し、無事に完成させることができました。一年を通して、とても楽しく思い出の多い広報委員会活動ができ、大満足です。そして感謝の気持ちでいっぱいです。心から『ありがとう』でございます。』

（鈴木）



222号編集委員の皆さん